

分離が難しい蒸留と付帯設備設計 に関する講習会

主 催：分離技術会
協 賛：化学工学会分離プロセス部会、石油学会、日本化学会
日 時：2010年9月17日(金) 10:00～17:10
場 所：日本大学理工学部1号館(御茶ノ水)144教室
JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅、地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩3分
案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>
定 員：80名(先着順)

蒸留技術は石油精製・石油化学および化学工業において中心的な役割を果たす分離技術で、理論的な解析が最も進んでいる技術の一つです。今年の2月に開催した蒸留フォーラム2010に約100名の参加をいただきましたが、そのアンケート結果を反映し、相平衡測定、蒸留塔の付帯設備設計、運転制御、共沸蒸留および省エネルギーまで網羅した講習会を開催することになりました。

今回も企業の第一線でご活躍されている方にご無理を言ってご講演をお願いしました。蒸留塔の設計、建設および運転される技術者のみならず研究者にとっても非常に役立つ内容となっております。奮ってお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

プログラム

- はじめに (10:00～10:05) (日本大学) 栃木 勝己 氏
1. 最新の相平衡測定事例とその応用 (10:05～10:45)
(日本大学) 栃木 勝己 氏
2. 蒸留塔のコンデンサーとりボイラーの設計 (10:45～11:25)
(HTRI アジア事務所) 魚津 博久 氏
3. 加熱炉の設計と省エネおよび低 Nox 化技術の紹介 (11:25～12:05)
(株)IHI プラントエンジニアリング) 伊澤 伸貴 氏
- < 昼 食 12:05～13:00 >
4. 運転制御技術の活用による省エネルギー事例紹介 (13:00～13:40)
(出光興産(株)) 竹内 健史 氏
5. 化学交換法によるホウ素同位体濃縮の解析的考察～ ^6Li 10t から実機へのスケールアップ～
(13:40～14:20)
(ステラケミファ(株)) 宮本 和博 氏
6. 共沸蒸留プロセスの理論と設計 (14:20～15:00)
(三菱化学(株)) 虎谷 信雄 氏

< 休憩 15:00 ~ 15:10 >

7. セラミック膜による分離用途例と開発中のセラミック膜について (15:10~15:50)
(日本ガイシ(株)) 脇田 昌宏 氏
8. 酢酸の脱水蒸留 (15:50~16:30)
(株)ハイポテック) 稲垣 甫 氏
9. 省エネルギー蒸留について ~ Heat Pump と HiDIC ~ (16:30~17:10)
(東洋エンジニアリング(株)) 若林 敏祐 氏

参加費：維持・特別・正会員・協賛会員 15,000 円、会員外 25,000 円、同時入会 20,000 円(テキストおよび書籍 分離技術シリーズ「実用蒸留技術」を含む)

学生 5,000 円 (ただし学生参加費には書籍「実用蒸留技術」は含みません)

参加費は郵便振替または下記銀行に前納にてお振込みください。

郵便振替:00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行:神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先: 参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ, 下記事務局まで FAX または e-mail にてお申込下さい。申し込み締切日 2010年9月10日(金)、ただし締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせて頂きますので、お早めのお申込みをお願い致します。

〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会事務局

TEL: 044-935-2578 FAX: 044-935-2571 e-mail: jimmu@sspej.gr.jp

分離が難しい蒸留と付帯設備設計に関する講習会 参加申込書

氏 名			
勤務先			
所属			
所在地	〒 TEL _____ FAX _____ e-mail _____		
送金内訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請求書	要 ・ 不要
会員資格	(維持・特別会員・正)・学生会員・協賛団体会員・会員外・同時入会		